

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp

黒豆の声

春のようなお陽さまの光
ほったたをなでる風は冷たい
新しい命がぷっくりと芽吹く樹々
青い空が輝いている

今朝「たんぽぽだより」を配り、
マイクで話していると
「これ駅前でもらってますよ」
やわらかい声をかけてくださる
「これを読むとよくわかります」
温かい目が語りかけてくださる
「知らないことが一杯ですよ」
たくさんの想いが伝わってくる

きれいに折りたたんで
カバンに入れてくださる方
読みながら歩いていかれる方
黄色いたんぽぽだより
可愛い手が差し出される
私たちの未来

そして希望

あれから15年
時を刻み続ける
今を生きる大人の責任として
今伝えられること
今行動できることを精一杯

声なき声に耳を傾け
つながっていこう

「がんばってくださいね」
たくさんの元気をいただく
太陽も背中を押してくれる
背筋がピンと伸びる

年金者組合川西支部は、「高齢者お
出かけ促進事業」存続にむけて署名
活動を行う学習決起集会を開催。連
帯の挨拶をさせて頂きました。



中学校給食はおいしく安全な「自校調理」で

市は「センター方式」検討

「中学校給食早期実施のための検討状況について」の説明
が2月1日の議員協議会であり、市から「自校調理方式を
基本」というこれまでの方針を突如転換し「センター調理方
式」を検討するための業務委託料550万円を新年度予算に計上
する方針が示されました。経過も子どもや保護者の願いにも
反します。(ブログたんぽぽだより2月1日付けに掲載中)

突如転換し予算計上

工場地域と準工場地域に限ら
川西市では、2015(H27)年度
に決めた「川西市中学校給食
配送時間などを勘案するとセ
推進基本方針」で、小学校と
同様の「自校調理方式を基本」
とし、2016(H28)年度にモデル
校で実施計画を作成(240万円
を予算化)、2018(H30)年2学
期から実現予定としていまし
た。

配送費など費用高

ところが今回の計画では①
久代・下池の一部、久代出張
署用地②舎羅山山用地、の2
つを候補地とし、4500食の給食
を候補地とし、1か所建設する
センターを、1か所建設する

こうした経過を無視して今
回、突然「基本方針は変えな
いが、新年度にセンター方式
検討の業務委託料550万円を予
算化する」と説明されたので
3000万円余の配送費もかかり
ます。

「センター方式ない」

自校方式の建設費22億6000
万円と比べても自校調理方式
の方が合理的です。

感染リスク高まる

また、学校給食は子どもの
安全や発達の立場から、調理
しよるか。

後2時間以内の摂食が義務づ
けられ、校長が30分前に検食
もします。調理数や従業員数
が多くなるほど感染リスクが
高まり、感染経路や原因究明
に時間がかかります。食中毒
が起これば大変です。

この点、現在市内小学校で
実施されている給食では、温
かいものを温かく、「食育」
の観点で学校が丸となつて
取り組んでおり、高く評価さ
れています。

検討委にも知らせず

予算までつけて進めてきた
中学校の「自校方式」をやめ
るべきではありません。

私(黒田)が、元々の「自校
調理方式を基本とする基本計
画から逸脱している」と追及
しても、「基本方針を基本に
している」と繰り返す担当課、
部長、教育長。真剣に検討し
てきた中学給食検討委員会に
も図らず、委員さんにも伝え
ないまま、センター方式に切
り変える態度は許されるので
しよるか。

医療費助成☆拡充☆

今年7月から乳幼児・こども医療費助成制度が
拡充。就学前のこども約800人が、所得制限がな
くなり対象になります(予算1742万円)。

また、小学4年生～中学3年生の児童・生徒6081
人が、本人2割負担から1割負担に軽減されます
(2239万円)。(予算案より抜粋)

昨年9月議会で新日本婦人の会川西支部が提出
した「中学校卒業までの医療費無料化を求める請
願」を全会一致で採択。今回の拡充に反映されま
した。

私(黒田)が議員になった2002年10月当時の
医療費無料化は0歳児のみ。それも所得制限があ
りました。住民の皆さんとご一緒に声をあげ続け、
少しずつ上乗せさせてきました。引き続き中学校
卒業まで、所得制限なしの医療費無料化実現へ取
り組んでいきます。

就学前無料・中学まで1割

ぜひ、自校調理実現を
学校施設は、地域住民の大
切な拠点。全国的に食育とし
ての給食を発展させ、地産地
消や地元食文化の継承、高齢
者への提供などの取り組みが
広がっています。

川西病院の存続を

パブコメ 180人

国のガイドラインに沿った市立川西病院改
革プラン(案)のパブリックコメントが終了。
約180人の方から意見等が提出されました。

3月6日(月)常任委員会終了後から行われ
る議員協議会で報告があります。(傍聴可能)

地域医療の拠点総合病院としての市立川西
病院存続にむけて全力で取り組みます。ご一
緒に声をあげ行動しましょう。

ご意見・ご要望 お気軽にお聞かせください。

北朝鮮
ミサイル

北朝鮮は12日、北西部の亀城から弾道ミサイル1発を発射。ミサイルは日本海に落下しました。国連安保理は発射を強く非難する声明を発表、北朝鮮制裁について「さらなる重大な措置をとる」と警告しています。



志位委員長が談話 発射に強く抗議

日本共産党の志位和夫委員長は12日、以下の談話を発表しました。

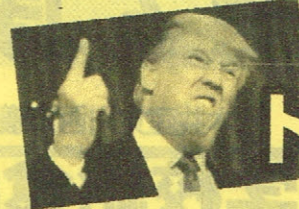
一、北朝鮮は本日12日午前、同国北西部から日本海に向けて、弾道ミサイルを発射した。北朝鮮の行動は、核兵器の開発と不可分に結びついた軍事行動であって、国際の平和と安全に深刻な脅威を及ぼす行為であり、国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙である。

核兵器禁止条約の
国際会議がいよいよ重要

日本共産党

日本共産党は、北朝鮮の行為を厳しく非難し、抗議する。このような軍事挑発の道は、北朝鮮自身にとっても未来のない道であることを、厳重に警告する。

一、北朝鮮に核・ミサイル開発の放棄を迫るうえでも、3月から国連で始まる核兵器禁止条約に関する国際会議の成功がいよいよ重要となっており、わが党はそのために力をつくす。



あまりに異常

トランプ 追隨

危険 「米国第一」+「日米同盟第二」

安倍首相とトランプ米大統領は10日(日本時間11日)、初の首脳会談を行いました。「米国第一」を掲げるトランプ政権に対して、安倍首相が「日米同盟第一」の立場で追従。安保政策でも経済政策でも、異常な「トランプ追従」が際立ちました。



日米首脳会談で浮きぼり

首脳会談では、「日米同盟の強化」が強調され、「日本はより大きな役割・責任を果たす」「引き続き防衛協力を実施、拡大する」などが合意されました。米軍と自衛隊が地球規模の軍事協力―「海外で戦争する国」づくりをさらに推進するという誓約です。

経済問題で首相は、「日本は大統領の成長戦略に貢献し、アメリカに新しい

対等・平等・友好の日米関係を

雇用を生み出すことができる」とのべました。トランプ大統領の国内経済政策に、日本が全面的に協力し、貢献することを一方的に表明することは、異常な「貢ぎ物外交」というしかありません。「日米同盟第一」の硬直した思考を抜本的に見直すべきです。

日本共産党

日本共産党発行



日刊月3497円
日曜版月823円

総選挙 近畿の比例代表予定候補

日本共産党



比例代表は「日本共産党」
選挙区は「候補者の名前」で

政党名を
書きます

お申込みは黒田みちまで ☎& fax 790-3055

日米首脳会談

軍事 核使用も辞さず

日米共同声明は、「日米同盟」の項の冒頭で「核軍力による日本防衛」をうたいました。核使用も辞さないという方針。世界で広がる「核兵器のない世界」への動きに逆行するものです。

沖縄基地 民意踏みにじる

沖縄・辺野古への米軍新基地について、「唯一の解決策」として推進することを確認。「日米同盟」のためと、県民が繰り返し示した民意を踏みにじることは絶対に許されません。

日米首脳会談では、世界から見ても異常な対米追従ぶりが示されました。

対米追従いっそう深化

経済 TPP以上に影響深刻

共同声明は、TPPの離脱を踏まえ、「日米間で2国間の枠組みに関して議論を行う」としました。あらゆる分野でTPP交渉以上に譲歩を重ね、日本経済に深刻な影響を及ぼしかねません。

安保条約廃棄し、友好条約結ぼう

トランプ追従を進めるなら、矛盾が深刻になることは明らか。対米従属の根っこにある日米安保条約を廃棄し、それに代わって日米友好条約を締結することにこそ、対等・平等・友好に立った21世紀の日米関係の未来があります。

世界が批判 警鐘「コメント控える」

首脳会談は、トランプ大統領 行われました。禁止令は人権・人道問題、テロ対策にかかわる国際問題で、米同盟国の首脳も非難しています。

「自分の見解のべられない国」

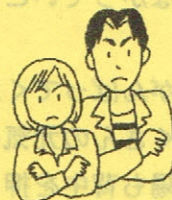
ところが安倍首相は首脳会談後の記者会見で、質問を受けていないのに、「コメントは差し控えたい」とわざわざ発言しました。「日本が

「へつらい」(米タイム誌)

トランプ政権にしがみつく安倍首相

食事にゴルフ、移動も一緒と気持ち悪いほどべつたりのトランプ大統領と安倍首相。首相の「トランプへつらい」ぶりにはアメリカでも厳しい目が注がれています。

- 「これだけ米大統領におべっかを使う外国の首脳は、今まで見たことがない」(米ニュース専門放送局・MSNBCのアナリスト、デビッド・コーン氏)
- 「安倍首相はトランプ大統領の心をつかむ方法を示した。へつらいである」(米タイム誌〈電子版〉10日付)
- 首脳会談で「安倍首相は億万長者のビジネスマンにおべっかを使いながら、米国が“ますます強くなること”を歓迎すると語った」(ワシントン・ポスト紙)



ドイツ メルケル首相	「特定の地域の出身者や特定の信仰を持つ人々すべてを疑いの目で見ることは正当化できない」
フランス オランド大統領	「難民保護の原則を守らなければ、民主主義を守ることはできない」
イギリス メイ首相	「イギリス政府は、はっきりと譲りであるという立場をとっている。あのような政策は対立を生み、間違っている」
カナダ トルドー首相	「信仰に関係なく、カナダは迫害、テロ、戦争から逃れた人々を歓迎する。多様性はわが国の強み」

入国禁止令

日本共産党